

鹿児島県立霧島高等学校

ESD研究班

鹿児島県霧島市牧園町宿窪田330番地5

浮かぶボールの工作体験提供



Action

アルミ缶で正二十面体のボールとし、ペットボトルにストローを取り付けて、息を吹き込むことによってボールが浮き上がる現象を工作者自らが体験できる。近隣の小中学校や科学館での提供で、作業時間を50分程度にするために、安全に精度よくできるように道具や器具を製作したり、テキストや説明動画の準備など協力して行っている。体験は、技術が新たな価値を生み出す可能性を示している。科学技術の進展には多様な学びと経験が必要で、学びの動機につながる。リサイクルを含めて処理や廃棄されるものは環境への負荷をかけていること、ワンウェイプラスチック製品の見直しやコストバランスと負担者を考えるきっかけにしたい。

